

# 日本湿地学会第5回大会報告

#### 1. 学術報告会及び特別セッション

2013年9月7日,石川県加賀市ホテルアローレにおいて、日本湿地学会第5回大会が開催された。大会 に先立って、9月6日にはエクスカーションとして、片野鴨池と柴山潟の見学、また、片野鴨池のラムサー ル条約登録20年を振り返るワークショップが開催された.

ワークショップ, 大会及び特別セッションのプログラムは以下の通り.

## ●ワークショップ (大聖寺下福田町町民会館)

#### 基調講演

『ラムサール釧路会議から 20 年~ウトナイ湖,片野鴨池,東海丘陵湧水湿地群をめぐる』/大畑 孝 二 (豊田市自然観察の森所長)

パネルディスカッション

『片野鴨池のラムサール条約登録20年をふりかえって』

#### パネリスト:

山本 芳夫 (鴨池観察館友の会会長)

西出 都芳(下福田町生産組合長)

池田 豊孝 (大聖寺捕鴨猟区協同組合理事長)

大畑 孝二 (豊田市自然観察の森所長)

ファシリテーター:

笹川 孝一(法政大学)



9月6日のエクスカーション 柴山潟で鴨池観察館友の会より説明を頂いているところ. 地元のみなさまを交えたパネルディスカッションを行いました.



町民会館でのワークショップ

### ●第5回大会プログラム

- 1. 「酪農地帯の氾濫原湿原における表層水移動と水質形成」矢崎友嗣(北海道大学,現(一社)湿原研究 所) · 矢部和夫(札幌市立大学) · 浦野慎一(北海道大学)
- 2. 「地元住民が参加した植物調査と植物標本作成」白井隆・白井温紀・矢崎友嗣((一社)湿原研究所)
- 3. 「岐阜県における湧水湿地の保全」河合和幸((株) テイコク)

- 4. 「湧水湿地の保全・活用と地域社会」富田啓介(名古屋大学)
- 5. 「富士山麓の水草の生育地:特に人為的影響について」下田路子(常葉大学社会環境学部)
- 6. 「湿地生態系の文化サービスの指標に関する考察」太田貴大(立命館大学政策科学部)
- 7. 「生物多様性戦略計画:2011-2020と湿地」吉中厚裕(国連生物多様性条約事務局)
- 8. 「REEP:川がつなぐ人と地域 生態系サービスの賢明な利用にむけた普及啓発活動」市川智子(環境省生物多様性地球戦略企画室)
- 9. 「田んぽの生物多様性向上 10 年プロジェクト」呉地正行(日本雁を保護する会/ラムサール・ネットワーク日本)
- 10. 「湿地研究の主体について~ラムサール条約第4条との関係で~」笹川孝一(法政大学)
- 11. 「メコン チャオプラヤ河流域における生物多様性の保全とワイズユース―第一期事業の成果の発信と活用―」名執芳博(公益財団法人長尾自然環境財団)・市河三英(一般財団法人自然環境研究センター)・多紀保彦, 打木研三, 渋川浩一, 菰田誠(公益財団法人長尾自然環境財団)
- 12. 「『干潟ベントスフィールド図鑑』の発行とその概要」佐々木美貴・中川雅博(日本国際湿地保全連合)
- 13. 「サロベツ泥炭地の流路流出と炭素収支」井上京(北海道大学大学院農学研究院), 武地遼平(北海道大学大学院農学院, 現・応用地質株式会社), 高田雅之(法政大学人間環境学部)
- 14. 「ラムサール条約登録 20 周年を迎えた谷津干潟の挑戦」芝原達也・島田義夫・小林晴康・宮西盛一郎・ 小山文子・星野七奈・永井祐紀・井坂紗弓・椎名明日香(谷津干潟自然観察センター)
- 15. 「北潟湖沿岸に生息する陸ガニ幼生の魚類による利用」中山貴将, 山岸明日翔, 柳井清治(石川県立大学), 寺島佑樹(金沢大学)
- 16. 「片野鴨池の湿生群落に与えるヒシクイの捕食圧について」大河原恭祐(金沢大学自然システム学類生物学コース)・田尻浩伸

#### ●特別セッション/第2回 ワイズユース・中部ネットワーク会議 in 加賀

第1部 メッセージ

「蕪栗沼(宮城県)におけるワイズユース実践状況」 呉地 正行(NPO 法人蕪栗ぬまっこくらぶ理事長)

第2部 パネルディスカッション

「各湿地におけるワイズユース実践/地域経済の持続的発展と活性化に向けた活動の現状と課題」

コーディネーター: 名執 芳博(長尾自然環境財団)

パネリスト:呉地 正行(NPO 法人蕪栗ぬまっこくらぶ理事長)

藤前干潟:亀井 浩次(NPO 法人藤前干潟を守る会理事長)

磯部 裕司(名古屋市環境局環境活動推進課)

三方五湖:児玉 晃治 (ハスプロジェクト推進協議会)

山口 浩幸(若狭町歴史文化課縄文環境室)

東海丘陵湧水湿地群:光岡 金光(豊田市自然愛護協会会長)

山﨑 有里(豊田市環境部環境政策課)

中池見湿地: 増田 茂 (NPO 法人中池見ねっと理事)

西澤 達也(敦賀市市民生活部環境課)

片野鴨池:山本 芳夫 (鴨池観察館友の会会長)

山村 嘉康(加賀市地域振興部環境課)

## 2. 日本湿地学会 2013 年度理事会

2013年9月6日、ホテルアローレ(加賀市)において理事会が開催された、概要は以下の通りである。

- ・2012 年度決算報告, 2013 年度事業案および予算案が承認された. その際, 2013 年度より管理費に事務 人件費を計上することが確認された.
- ・会費納入率の低下に伴い会費収入が大幅に減少したことに対して、 督促体制の強化や会費納入システム の整備などを検討することとなった.
- ・辻井前会長及び菊地理事が任期中に急逝されたことを受け、現理事会の残任期間の体制が検討された。 その結果、島谷会長代行(前副会長)を会長に、名執理事及び安藤理事を副会長に置き、小林事務局長、 井上編集長、高田編集事務局長を新たに理事会に加え、牛山理事を後任事務局長とする新体制案を総会 に諮ることが確認された。また、それぞれの理事に、企画、財務、総務などの会務担当を割り振った。
- ・来年度大会を辻井会長の追悼大会として北海道(札幌)で開催することが確認された.
- ・編集委員の提案より、投稿規程の改訂、編集委員会細則の作成、朝倉書店による出版企画について審議が行われた。投稿規程の改訂案については承認されたが、編集委員細則については内容を精査の上、メールで審議が続けられることとなった。また、朝倉書店の出版企画については、日本湿地学会として協力する方針が確認され、企画担当理事および総務担当理事で議論をすすめることとなった。

#### 3. 日本湿地学会 2013 年度総会

2013年9月7日,ホテルアローレ (加賀市) において総会が開催された。概要は以下の通りである。(議長: 井上京編集長 (北海道大学),記録: 牛山克巳理事 (宮島沼水鳥・湿地センター))

### 【議案1】2012年度事業内容と決算報告

資料に基づき審議があり、林監事による監査報告の後、承認された.

#### 【議案2】2013年度予算案と事業案

資料に基づき審議があり、承認された.

#### 【議案3】今後の学会運営体制について

理事会にて検討された新体制案について審議があり、承認された。島谷新会長より挨拶があった。また、 来年度は辻井前会長の追悼大会を北海道(札幌)で開催する予定であることが報告された。

報告事項として、朝倉書店の出版企画について説明があり、湿地学会として協力する理事会の方針が説明された。会員より、今後のスケジュールに関する質問や、詳細な出版企画を踏まえた上で検討すべきとの指摘があり、笹川理事(企画担当)、名執理事(副会長)、小林理事(総務担当)を中心に、学会員に関わってもらいながら検討を進めることとなった。



ワークショップ後の交流会(9月6日).



特別セッションの様子 (9月7日).